



Japiu

News Letter

Vol. 7

2022/3/8

オセアニアの学校制度



英語留学先として近年大人気な場所があります。それはオーストラリアとニュージーランドです。語学学校や留学プログラムが充実しているのはもちろん、ワーキングホリデーで就業体験もできるのが魅力となっています。オーストラリアは世界で最も暮らしやすい国の一つと言われており、多くの都市は温暖な気候で過ごしやすく、比較的治安も良いので安心して生活できる環境が整っています。一方、ニュージーランドは日本のように四季がはっきりしていて全体的には温暖な気候で、自然豊かなのんびりとした環境で勉強ができます。

今回はオーストラリアとニュージーランドの学校制度をご紹介します。留学先を選ぶ参考になれば幸いです。

～オーストラリアの学校制度～

オーストラリアは、6州、北部準州及び首都直轄区からなる連邦国家であり、教育は憲法上、州の責任とされています。そのため、学校、カリキュラム、評価、教員人事など教育に関する権限は基本的に州が有しています。



また、**Australian Qualifications Framework(AQF)(オーストラリア教育資格システム)**を実施していることが特徴的です。AQFとは、大学、職業専門教育訓練、中等教育を対象として資格及び学位をひとつの枠組みに統一する全国的なシステム。職業教育と普通教育の両方を含んだ学習段階において共通の資格を付与する、オーストラリア全体を対象とした資格認定制度を導入しています。

義務教育後に大学などへの進学希望者は、後期中等教育へ進み12年生終了前に各州の「**統一高等学校資格試験(QCS Test)**」を受け高校終了資格を得た上で、その点数に応じて希望の教育機関に進みます。その他、高等職業教育も充実しているため、義務教育後に職業教育訓練専門学校へ進む方も少なくありません。

学校制度	州によって異なる 【QLD/WA/SA/NT州】7-3-2制 【NSW/ACT/VIC/TAS州】6-4-2制 学年をYearと呼び、日本の小1～高3までの12年間でYear1～12で表す。
義務教育	6～16歳(Year1～10) 前期中等教育終了時に相応の成績を修めた者に対し、後期中等教育への進学要件となる前期中等教育終了証が与えられる。
学期	・4学期制(Term) : NSW/ACT/VIC/TAS ・2学期制(Semester):QLD/WA/大学など 【学校年度】2月～12月 1月～12月(職業教育) 2月～11月(大学)

5歳 : Prep Year

幼稚園、小学校付設準備学級など(Kindy)

6～12/13歳 : Year1～6/7

小学校(Primary School)

13/14～16歳 : Year7/8～10

中学校(Secondary School)

17～18歳 : Year11～12

高等学校(Senior Secondary School)

職業訓練学校(VET)

・公立職業専門学校(TAFE)

・民間職業教育訓練機関(RTO)

19歳～ : High Education

大学/大学院(University)



Year1～10
義務教育



～ニュージーランドの教育制度～

ニュージーランドは日本と異なり、義務教育課程であっても**有償**です。公立学校は政府援助を受けていますが、学校理事会 BOT(保護者の代表者を中心に組織される学校経営主体)による独立採算制となっています。そのため授業料ではなく寄付として、年間 200～300NZドル(約 1 万 4,000 円～2 万円)を徴収しています。

また、5 歳になると小学校への入学が許可されるため、ほとんどの子供たちは **5 歳の誕生日の翌日から小学校に入学**します。児童生徒は個別に入学するため、ニュージーランドの学校では入学式がありません。



高等学校に進学するには、**全国統一テスト「NCEA (National Certificates of Educational Achievement)」**を受験し、高校教育認定資格を習得する必要があります。NCEA にはレベル 1～3 があり、各学年で必要なレベルが決まっています。

Year11 でレベル 1 をクリア	・Year12 に進級 ・工科大学・ポリテクニクのサティフィケート課程 (Level4)に進学
Year12 でレベル 2 をクリア	・Year13 に進級 ・工科大学・ポリテクニクの準学士課程に進学 (Level5・Diploma)
Year13 でレベル 3 をクリア	・大学課程に進学 ・工科大学・ポリテクニクの学士課程に進学 (Level6・Bachelor's Degree)

高等教育を提供する機関：すべて国立

高等技術専門学校 / 教員養成大学 / 総合大学(8 校)

※高校卒業もしくは NCEA レベル 3 を習得していない場合は、20 歳以降から大学入学が可能です(以下の条件が必要：履歴書と入学希望理由書の提出/Bridging Course を受けて合格)

学校制度	6-2-5 制 学年を Year と呼び、日本の小学校～高校にあたるのが 13 年間あり、Year1～13 で表す。
義務教育	5～15 歳(Year1～11) その後、進学する場合は Year11 で全国統一テスト NCEA を受験し高校教育認定資格の習得が必要。
学期	・4 学期制(Term)：小学校～高校 ・2 学期制(Semester)：大学・専門学校 【学校年度】1 月下旬～12 月中旬 2 月下旬～11 月下旬(大学)

0～4 歳：Early Childhood Education

幼稚園、保育園、プレイセンター

5～12 歳：Year1～8

小学校(Primary School)

13～14 歳：Year9～10

中学準備校(Intermediate School)

15～17 歳：Year11～13

中学校・高校(Secondary School)

18 歳以上：Tertiary

- ・大学・工科大学(3 年で学士号取得可能・University)
- ・教育大学(教員育成/教育研究・Colleges of Education)
- ・ポリテクニク(技術者のための専門学校・Polytechnics)



ニュージーランドの幼児教育「**テファリキ (Te Whariki)**」という子供に寄り添った教育も世界から注目を集めています。

幼保統一カリキュラムの「テファリキ」は読み書きや運動など就学前の子供ができるようになることを決めるのではなく、子供たちの社会的・文化的な学びや様々な人と子供たちが築く関係が重視されています。**幼児期に身に付けるものは「豊かな経験」**です。ちなみに先住民マオリの言葉で「**編んだ敷物**」という意味があり、多様なバックグラウンドを持つ子供たちが誰もが乗ることのできる敷物を象徴していると言われています。